

【高等学校】 入学年次 「保健体育科（科目保健）」の指導計画

単元名	内容のまとめり
生活習慣病などの予防と回復	(1) 現代社会と健康
単元の目標	
<p>(1) 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんには様々な種類があり、生活習慣や細菌、ウイルスの感染などが原因であることを理解することができるようにする。 ・がんには様々な治療法があることを理解することができるようにする。 <p>(2) 【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療法による、メリット・デメリットを整理し、患者と関わる上でどのような配慮が必要かを考えることができるようにする。 <p>(3) 【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの発症リスクを下げる為に自らの生活習慣を振り返り、改善に向けて主体的に学習に取り組むことができるようにする。 	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>①がんは生活習慣・細菌・ウイルスなど、様々な原因によって罹患するというを理解することができる。</p> <p>②がんには様々ながんがあり、若年層でも罹患する可能性が高いものや女性特有のがんが存在することを理解することができる。</p> <p>③がんの回復においては手術療法、化学療法、放射線療法などの治療法があることを理解することができる。</p>	<p>①がんに罹患した場合には生活がどのように変化していくのかを考え、整理している。</p> <p>②がんの発症リスク軽減に向けて自らの生活習慣を振り返り、考えることができる。</p> <p>③がんを発症した場合にがん患者や周囲の人の生活がどのように変わるのかを緩和ケアの観点から考えることができる。</p>	<p>①がんの予防と治療についての課題の解決について主体的に取り組んでいる。</p>

指導と評価の計画（全4時間）

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣とは何かを紹介し、生活習慣に関わる他の単元にも触れる。 2 紹介した生活習慣の中から自らの生活に大きく関わるものを選び、自らの生活を振り返る。 3 自らの生活習慣における改善点を他者と交流する。 4 生活習慣病を予防するためには今後の生活をどのように過ごしていく必要があるのかを考え、本時を振り返る。 	①	①		観察・ワークシート
2	<ol style="list-style-type: none"> 1 「がんとは？」がんの仕組みや特徴の説明を聞く。 2 がん細胞の増殖や転移についてグループで調べる。 3 がんの「リスク軽減」と「生活習慣」との関連を調べ、自らの生活と照らし合わせ、グループ内で発表する。 4 がんの種類や種類ごとの特徴をワークシートにまとめる。 	②	②		観察・ワークシート
3 (本時)	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時で感じた、がんに対するイメージをグループ・全体で共有する。 2 がんの治療方法の説明を聞く。 3 治療法によるメリット、デメリットを調べ、整理する。 4 緩和ケアの重要性を考えると同時に、若年層の人々ががんを発症した場合に、生活がどのように変わってしまうのかを考え、グループで共有する。 5 本時の内容をワークシートで整理する。 	③	③		観察・ワークシート Google Jamboard
4	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時までを振り返り、学習してきた内容をペアで共有・確認する。 2 日本は二人に一人ががんを発症するとされていることを踏まえ、社会的な対策について調べる。 3 がん患者と共生していくために必要なことを考え、グループで共有する。 4 本時の内容をワークシートで整理する。 			①	観察・ワークシート

本時の指導案（3/4時間）			
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療法について理解することができるようにする。 ・がんを発症した場合には患者や周囲の人々にどのような課題が生じるかを緩和ケアの観点から考えることができるようにする。 		
段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導と支援（◆評価規準と方法）
導入	1 前時の振り返りをする。 2 本時の評価規準についての説明を聞く。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんの特徴である「転移」「増殖」に触れる。 ○ 様々ながんの種類について前時で調べたことを全体で共有する。
展開	3 がんを発症してしまった場合にはどのように対処（治療）していくのかを考える。 4 がんの治療法について説明を聞く。 5 タブレットを用いて、がんの治療法について調べ、ワークシートにまとめる。 6 緩和ケアについての説明を聞く。患者や周囲の人々にどのようなケアが必要なのかを考える。	ペア 全体 グループ グループ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まずは生徒同士で知っていることを共有する。 （ICTの活用・ペアワーク） </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ スライドを用いた説明を行う。各治療法によるポイントをワークシートにメモするように指示する。 ○ 治療法ごとのメリット・デメリットに分けて調べていくように指示する。また、調べた情報をグループで共有する。 ○ 「緩和ケアという言葉を知っている？」（発問）緩和ケアの説明を行う。緩和ケアについて調べさせる。緩和ケアについてワークシートにまとめさせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> どのようなケアが必要なのかを考え、Google Jamboard の付箋を使って、共有する。 </div>		
<p>◆ <知・技③、思・判・表③></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの治療法をワークシートにまとめ、理解することができる。【ワークシート（授業後）】 ・グループワークにおいて自らの考えを付箋で発信することができる。【観察（授業中）】 <p>※ グループワークにおける活動状況を授業内で見取ることができなかつた場合には、授業後に Google Jamboard のアプリを用いて確認する。</p>			
まとめ	7 本時の内容のワークシート整理を行う。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導を行い、取組状況を観察する。整理がうまく行えていない生徒には適宜、声をかけ、支援する。
工夫のポイント			
<ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導の場面では「手術療法」「化学療法」「放射線療法」に触れて、知識に関して指導する。その知識を土台に生徒ががんを自分に身近な存在だと感じ、自分事として考えることを目指し、ペアワークやグループワークを活用し、自分たちで調べ、考えを共有する機会を多く設けている。 ・緩和ケアについては患者とその周囲の人々がどのような課題に直面し、ケアを必要とするのかを考え、がんを自分事として考えることをねらいとする。 ・女性特有のがんをはじめ、若年層においてもがんは発症するリスクがあるということを理解させる。また、がんを発症した場合には患者や周囲の人々の生活がどのように変化するのかを事例集を用いて緩和ケアの観点から考えさせる。 			